



酒匂の清流

令和5年2月1日(水)発行

校長 津田 将美

手づくり凧のお話

2学期の終業式に、日本の伝統的な文化にふれるという趣旨で、小学校時代に夢中になった凧作りの話をしました。

小学校の冬休み、毎年挑戦していた凧作りが6年生でやっと成功し、手づくりの和凧が風に乗って空高く舞い上がったこと、凧糸が全部伸び切って友だちに新しい凧糸を買ってきてもらったこと、それを3回繰り返し凧糸4本分まで舞い上がり凧が山の頂上に届きそうだったこと、その時途中の結び目が切れ凧は山の向こうに消えていったこと、それでも成功した満足感、喜びが残ったこと…。

かいつまんで説明するとそういう話だったのですが、その後日談です。



先日1年生の担任が、うれしそうに報告してくれました。

「校長先生、1年生が生活科で凧作りをしたのですが、たくさんの子が凧に『龍』という字を書いたんです。校長先生の話聞いて『龍』を凧に書きたいと思ったそうです。」

実は私が作った和凧には、毎年長方形に収まりのいい迫力のある「龍」の字を筆で書いていたのです。終業式にはそのことも話したのですが、その話が子どもたちの心に残っていたんだなあ、しみじみとうれしくなりました。まだ習っていない難しい「龍」という字を担当の先生に教わりながら一生懸命書く姿を思い浮かべると健気です。

子どもたちの顔を見て話をしたいのは山々ですが、放送での始業式、終業式が続いています。できるだけ子どもたちの表情を思い浮かべながら話しているのですが、一生懸命聞いてくれていたことが伝わってきて、私も励まされた気分です。

今後子どもたちには放送で話すことが継続しそうな気配ですが、素直な心でしっかり聞いてくれている姿を思い浮かべ、私も心を込めて話をしようと思います。

1月25日には、その凧あげの授業が河川敷グラウンドで行われました。私は出張が入っていて途中までの参加でしたが、最強の寒波が襲来と言われた日、子どもたちは寒さを吹き飛ばす思いっきりの笑顔で凧あげを楽しんでいました。

自分で作ったものには愛着が湧きます。そして高く飛ばしたいという願いが強くなります。うまく飛ばないときにはどうしたらいいのかを考え、工夫し、試行錯誤しながら挑戦し続けることができます。手づくりの遊びからは、このような豊かな学びが生まれてきます。

私自身、小学校での凧あげから学んだことがたくさんあります。うまく飛ばすことができた子はその感動をわすれずに、飛ばすことができなかった子はこれからのあきらめない心と創意工夫のある挑戦につなげて行ってほしいと思います。

太陽の横、小さく白く見えるのが凧です。空高く舞い上がっていました。



第3回学校公開日

1月28日には、多くの保護者の皆様のご参観をいただき、無事に今年度3回目の学校公開を行うことができました。



明るい笑い声が響く、ひまわりストア



大盛況の1年生、5、6年生の教室前



保護者参加型の2年生おもちゃ大会リハーサル



3年生、山口さんありがとう集会



4年生、音楽発表会、大迫力でした。

子どもたちも、とてもうれしそうでした。あたたかい声かけをありがとうございました。

インターネット被害未然防止講座

1月20日、26日に、6年生、5年生と続いて「インターネット被害未然防止講座」が行われました。インターネットを介した犯罪が後を絶ちません。新聞やテレビでは、SNS等を通じた被害が連日のように報道されています。松田小学校ではこのような状況を受け、毎年このような被害を受けないための授業を、講師の方を招いて行っています。

今年度の講師は、NPO 情報セキュリティフォーラムの方々です。本来なら危険なサイトには訪問しないということをしっかりと学びますが、今回は「疑似体験」として実際にそのようなサイトに入ってみるといった試みでした。

あえて怖さを体験してみるというのは、実に効果があったように思います。子どもたちの中からも、

「インターネットは便利だけど、その分怖いことも多いので気を付けて使うようにしたい。」などの発言がありました。

これから中学校にかけて、子どもたちもスマホ等を持ちインターネットにふれる機会も多くなると思います。SNSを介した誹謗・中傷は犯罪です。子どもを様々な犯罪から守るために、学校でも指導を続けていきますが、ご家庭でも是非、正しい使い方の指導や毅然としたルール、マナーの徹底をお願いいたします。



第3回学校評議員会

学校公開に合わせて、今年度3回目の学校評議員会が開催されました。今回も学校公開において子どもたちの学習の様子、学校の教育環境等を参観いただき、学校運営についてのご助言をいただくことができました。また、学校評価の内容についてもご検討いただき以下のご意見をいただきました。

- ・子どもを認め励ますことについては、子どもの受け取り方を意識して具体的に伝えてほしい。
- ・校舎を大切に使用していることが伝わってきた。今のきれいな環境を引き継いでいってほしい。
- ・作品が掲示できない分、ポストに入れて見られるようにするなど、工夫があってよかった。
- ・子どもたちが主体的に動くことができていた。教師がそれを認め、伸ばしていることを感じた。

学校評議員さんよりいただいたご意見も合わせて、保護者の皆様には2月初旬に学校評価のとりまとめをお知らせする予定です。